

めむろ ボランティアセンターだより

令和6年3月号（第127号）

ボランティアのつどい

1月17日（水）に中央公民館2階の講堂で開催しました。

町内でボランティア活動をしている方々にご案内をしたところ、多くの団体等から32名ものご参加をいただき大変ありがとうございました。

とかちシニアサポート協会の喜多早苗さんによる明るく楽しい進行により、体操やレクリエーションを行い、1時間半という時間があっという間に過ぎました。



輪になって、体操をした後は、多くのボールを蹴り合うサッカー



釣りゲームで釣りあげたものはアキアジでもわかさぎでもなく、空き缶です



コップの上にはボールがスリスリと落とさないように運びます



太ももにタオルを巻いたら、手をたたき、タオルを外してバトンタッチ



笑い声が絶えない 喜多講師

参加された団体

- ・芽室町ボランティアセンター運営委員会
- ・芽室町赤十字奉仕団
- ・ガンバルーンサークル
- ・めむろ柏ふまねっとクラブ
- ・JAコスモスの会
- ・手話サークル「虹」
- ・手話サークル「ハンズ」
- ・にこにこサロン愛生
- ・ひまわりサロン

以上9団体

令和6年度のご参加もお待ちしております

芽室町ボランティアセンターへの登録のご案内

令和5年度 登録状況
15 団体・31 個人

ボランティアは、地域や社会に役立っていることはもちろん、自分自身の心も豊かにしてくれ健康増進にもつながる活動です。

ボランティア活動をしている個人・団体が、芽室町ボランティアセンターに登録していただくことで、関係する情報提供などを行っています。是非、登録をお願いします。

【登録のメリット】

- ★助成金の案内
- ★バス借上げの支援
- ★なごみの利用可
- ★ボランティア保険の加入
- ★各種研修会、交流会の案内
- ★各種表彰に対する推薦

ポイントがたまるボランティア活動

令和6年度はピンク色の手帳です

65 歳以上の方が、指定された活動先でボランティア活動すると「ポイント」が付与され、Mポイントなどに交換できる制度があります。

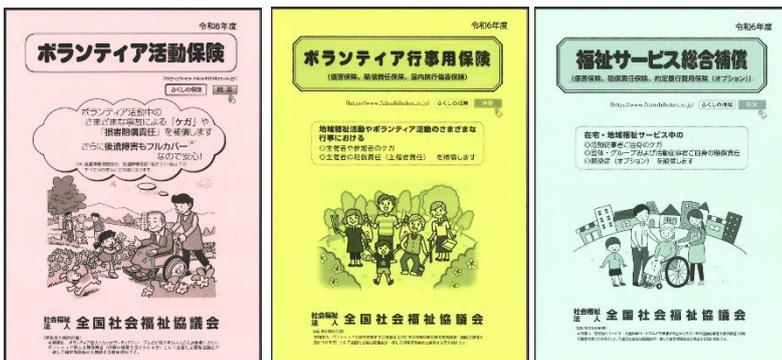
これは、ボランティア活動からご自身の社会参加と介護予防につなげることを目的に運用していますので、ぜひ多くの方の登録をお願いします。

申請書の記入と「ほほ笑手帳」の交付が必要となりますので、社協まで手続きにお越しく下さい。指定されているボランティアの活動先も社協までお問い合わせください。

「活動1時間＝1ポイント」 「1ポイント」＝「100円」に交換



ボランティア活動保険の加入ができます



パンフレットがありますので配布しています。

ケガはもちろん、賠償責任が補償されている保険です。

■活動保険では

○補償期間

加入日の翌日から3月31日

○保険料

基本プラン：350円

天災・地震補償プラン：500円

行事毎に加入できる保険もあります。詳しくは問い合わせください。

「地域交流サロン」 どなたでも参加できます

芽室町にお住まいの方々が気軽に集い、集まった人たちの興味や関心に合わせて会話をしています。参加費（お茶、お菓子代）は100円/1回です。

サロン名	開催日	時間	場所
にこにこサロン愛生	第1月曜日	午前10時～午前12時	愛生町地域福祉館
ラベンダー会	第1水曜日	午前10時～午前12時	南地区コミセン
ひまわりサロン	第2水曜日	午後1時30分～午後3時30分	幸町地域福祉館
サロンはまなす	第2金曜日	午後1時～午後3時	元磯貝学習塾
ウェルカム	第3水曜日	午後1時30分～午後3時	南地区コミセン

「お買い物サポート帳」を配布しています

買い物に支援を必要としている方が、芽室町内商店のちょっとした気遣いのサポートにより、飲食や買い物などがしやすくなり、不自由をかかえた方でも末永く町内で生活してゆけるよう「サポート帳」を作成しました。

配達、トイレ情報なども記載しています。希望される方に配布していますので問い合わせください。

【掲載商店 11店舗】

- ・どんぶりキッチンあかずきん
- ・鳥せい芽室店
- ・衣料寝具ありさわ
- ・FASHION まつばら
- ・ムラセ美容室
- ・正木薬局めむろ一ど店
- ・カドヤ化粧品
- ・お菓子のまさおか
- ・パルポートめむろ
- ・三浦商店
- ・武藤商店

冊子のイメージ



編集後記

お正月にひよっとしたことから、右足に痛みが。日に日に痛みが増し、どの姿勢でも痛みがある。

たいてい「だいじょうぶ」と答える自分が、この時ばかりは素直に「かなりやばい」と口にしてる。自分と比較的に痛いとか痒いと口にしてない方と思うけど、痛いものは痛い。

福祉の現場では、痛いという言葉を聞くことがあるけれど、どこか「それくらい」と思っていた自分。だけど、今回の痛みで、その人にとっては本当に痛い領域なのかもしれない。自分の経験から人に寄り添う気持ちを取り戻せたような。ボラというやさしい経験から、多くの気づきに気が付きたいと思っただけ。今日この頃でした。H

発行

社会福祉法人
芽室町社会福祉協議会
(芽室町ボランティアセンター)

〒082-0014

芽室町東4条4丁目5番地5 芽室町保健福祉センター内

☎0155-62-1616 FAX0155-62-1657

Mail : m-syakyo@memuro-syakyo.jp